

幼児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャンプごっこをする中で、絵本や自分の経験から遊びに必要な物を考え、材料や用具を選んで作ることを楽しんでいる。⑧⑩ ○ 砂場での水遊びで友達と一緒に穴を掘って水を溜めたり、水の流れる様子を見て気付いたことを教師に伝えたりしている。①③⑥ 					ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いを表現しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。⑨⑩ ○ 水遊びを繰り返し楽しみ、水の心地よさなどを存分に感じる。①⑥⑨
						内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と関わりながら遊ぶ中で、自分の思いを言葉で伝えようとする。 ○ いろいろな水遊びを楽しみ、感触や色の変化など発見したり試したりする。
日曜	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)	遊びを充実させる環境の工夫と援助	
行事	加須市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当幼稚園訪問			給食費等集金日	夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを友達に伝えながら遊ぶことができるよう、必要な言葉を知らせたり、見守ったりする。 ・ごっこ遊びに必要なものは何か幼児と相談し、思いが実現できるような素材や用具を用意しておく。 	
予想される活動	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と関わって遊ぶ。 (キャンプごっこ、遊びに必要なものを作る 等) ○いろいろな水遊びをする。 (洗濯ごっこ、色水遊び 等) ○身近な夏の自然に興味や関心をもつ。 (夏野菜の収穫、自然事象に関する図鑑や絵本を見る) 					準備するもの	
環境構成と援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児同士のかかわりの中で、自分の思いを出して遊ぶ楽しさを味わえるように見守ると共に、思いをうまく出せない幼児には、教師が代弁したり、言葉を補ったりしながら、思いを伝えられるように援助していく。 ○ 自分の思いを伝えたいという幼児の気持ちを受け止めて共感したり、よく話をきいたりして、安心して言葉で表現できるようにしていく。 ○ 遊びの中で、幼児がイメージした物を作ったり、「これを作りたい」と取り組んだりしている姿を認め、素材の性質を知らせたり、新しく提示したりする。 ○ 水を使った遊びでは、幼児の発見や気づき、疑問を丁寧に受け止めて共感し、色彩の美しさや不思議さを感じたり、感触を楽しんだり、試したりできるようにする。 ○ 自分なりに試して遊ぶことを十分に楽しめるよう、十分に素材を用意しておくとともに、じっくりとかかわる時間をつくる。 ○ 水を使って遊んだ後、体の拭き方や遊具の片付け方を丁寧に知らせていく。また、自分でできた幼児を認めることで、周りの幼児も「自分でやってみよう」という気持ちをもてるようにしていく。 ○ 夏野菜の成長の様子を教師も一緒に見たり、実際に手に取ったりして、形や色、においなどに気付けるようにする。 					キャンプごっこ ・広告紙・スズランテープ ・セロハンテープ 等 洗濯ごっこ ・石鹸・ロープ・タオル ・たらい・洗濯ばさみ	
						評価の観点	
					<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、自分の思いを言葉で伝えようとしていたか。 ・発見したり試したりしながら水遊びを楽しんでいたか。 		

10の姿 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現